

# 郡山五中学区 四校 PTA 連絡協議会だより

2015 年 12 月 14 日

H27 年度事務局：桃見台小学校

郡山五中学区には、郡山五中・赤木小・大島小・桃見台小の4つの小・中学校があります。

その4つの学校のPTAの役員と、それぞれの学校の先生たちが年に2回程度一堂に集まり、五中学区で学んでいる子ども達の健やかな成長を考え、真剣に話し合っている会が「四校連絡協議会」という組織です。今回は、その中の一部について学区内の全PTA会員にお知らせをいたします。

今年のテーマは「小・中連携」

「小学生が五中に行ってから活躍できるように、小学校のうちに何をしておけばいいか。」  
「中学校進学前の小学6年生に、どんな言葉をかけてあげたいか。」という内容で、五中の保護者、五中の先生もまじえ、小グループごとに話をしました。

○ 五中では「あいさつ日本一の学校」を目指している。小学校からも、しっかりとあいさつが出来るといいと思う。

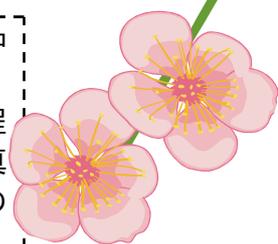
○ 中学校時代の友人は一生の友人となる。それくらい自分にとっていい時間となるはず。あまり、不安感を持たず、中学校生活を楽しみにしてほしい。

○ 中学校になると、やるが多くなる。そんな中で、自分の時間管理・自己管理・「早寝、早起き、朝ごはん」などの生活習慣づくりを小学生のうちから少しずつ出来るようにしておくといい。

○ 中学校は全く別の世界ではなく、今の日々の延長線上にあると思ってほしい。なので、「小学生としてやるべき事をしっかりとやっていたら大丈夫だよ。」といたい。また、「自分の考えをしっかりと相手に伝えられる。」ことや「自分で出来ることは自分で出来るようになること。」は大事ですね。

○ スマホや携帯での SNS サービス（LINE やツイッター、掲示板等）を使っのトラブルには気をつけたい。いろんな中学校でのトラブルの話聞くようになった。もし使う場合には、親に管理してもらった上でルールを守って使いたい。

ちなみに、五中では、生徒同士の SNS は禁止となっています。



○ 中学校では、高校受験を意識した勉強に変わっていくようです。そんな中でどんどん伸びていっているのは、ただ「いい成績を取りたい。」と言うことだけでなく、自分の将来も見据え、「〇〇のような仕事をしたから今の勉強を頑張る。」ということも大事だと思う。なので、少しずつでもいいので、目的意識が持てるといいと思う。

○ ぜひとも、小学生のうちから本をたくさん読む子になってほしい。中学校では部活動も始まり、時間も上手く使わないといけないが、小学校の時に身につけた読書習慣は、中学校の学習に大きく役立ちますよ。

○ 中学校では「予習・授業・復習の黄金サイクル」という言葉があるほど、学習習慣を身につけることを大事にしている。そんな習慣が、小学生のうちから少しずつでもいいので、身につけられたら、中学校につながっていくと思います。

○ 中学校になると小学校以上に「自分から進んで〇〇に取り組む」という事が大事になってくると思う。「やらせられる。」と思ってやるのではなく、「面白そうだな」と思う出会いをたくさんつくることや物事に対する積極性を小学校のうちから身につけさせたい。

○ 中学校には部活動というのがあります。先輩と後輩が同じ目標に向かって努力していく、一生懸命に頑張れる、いい経験が出来る場所です。  
また、人間関係も学べる場所ですよ。



○ 中学校における部活動生活は大きいものがあると思う。なので、入部にあたっては、たくさんの情報を集めて（「夏休みはどれくらい練習するのか」など）選択することがいいと思う。  
自分に合った部活動を見つけられるのが理想であるが、どのような部に入っても、一度入った部を3年間続けられれば、自分の大きな自信につながっていくのだと思う。

【保護者の方たちへ】の意見もありました。  
お父さんやお母さんには、「自分の中学校の経験を当てはめすぎようとしなくていいことが大切です。」と述べられていた人がいました。

○ 小学生のうちに来ること、今大事なことを一生懸命頑張る。そして、その積み重ねが中学生生活の基礎となっていくのだよ。  
「今」を大切にしようね。

四校のPTAの役員の方々には、熱心に議論いただき、また、たくさんのご意見をいただきましてありがとうございました。（誌面の都合上、全ての意見を掲載できませんでした。お許しください。）  
「あいさつ日本一」も含めて「日本一の五中の秘密は、このPTAにあり。」とも思った時間でした。これからも、四校で連携を深め子ども達のために活動していきたいと思えます。よろしく願いいたします。